

第28回土岐市子ども・子育て会議 会議録

■会議の日時:令和6年10月22日 14時から16時

■場所:土岐市役所 3階大会議室

■出席者:土岐市子ども・子育て会議委員

山田 利彦、加藤 香奈、福富 泰岳、加藤 隆浩、小栗 潔子、鷺見 政人

戸松 陽子、後藤 淳、加藤 千草、中島 冴加、松崎 多恵子、古林 真紀子

欠席者:穴戸 乃梨子

1. 健康福祉部長あいさつ

事務局 おはようございます。

一同 おはようございます。

事務局 定刻となりましたので始めさせていただきます。

みなさん、こんにちは。本日はお忙しいところ、第28回土岐市子ども・子育て会議にご出席いただきありがとうございます。

本日の会議の進行を務めさせていただきます、こども家庭課の鈴木でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、会議に入ります前に、資料のご確認をお願いいたします。委員の皆様には事前に、A4、1枚で「第28回土岐市子ども子育て会議」とした次第、右上に「資料1」とした冊子の「土岐市こども計画令和7年度～令和11年度」、「資料2」の岐阜県こども計画骨子案、「資料3」のA4横のカラー刷りの1枚もの資料をお配りしております。また、合わせて本日お持ちいただくようお願いしておりました、第2期土岐市子ども子育て支援事業計画の冊子版でございますが、資料のほうは皆様よろしいでしょうか。

それでは、次第に沿って進めさせていただきたいと思います。初めに健康福祉部長の熊崎より皆様へご挨拶申し上げます。

健康福祉部長 本日は、委員の皆様方には大変お忙しい中、子ども子育て会議にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。また日頃から本市の子育て支援施策について、多大なるご理解とご協力をいただいておりますこと重ねて御礼申し上げます。

本日の会議でございますが、こども計画策定の進捗状況についてご審議いただくこととしております。委員の皆様方、様々な立場から、様々な視点によるご意見をいただきながら、今後の子育て支援施策の充実につなげて参りたいと考えておりますので、どうぞ忌憚のないご意見を賜りますよう、お願い申し上げます。開会のごあいさつとさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

2. 会長あいさつ

事務局 ありがとうございました。続きまして、本会議を代表いたしまして、山田利彦会長、ご挨拶をお願いいたします。

山田会長 皆さん、こんにちは。お手元に資料が届いた時に、大変膨大で、数字がいっぱい並んで、どこをどう見たらいいのかと戸惑われたと思いますが、それぞれ、皆さん代表して見える立場のところを中心に、現状とかをしっかりと見ていただき、感想やご意見をいただければと思います。また、それぞれの立場を持って見えますので、

そこでのご意見を出していただければと思います。いつものことでございますが、最後のその他というところで、時間がありましたら、本日の議題で言い忘れたこと、あるいは議題にはなくても、それぞれの立場でやってみること、また、PRしたいこと、皆さんに理解していただきたいこと、呼びかけていきたいことをお1人ずつ順にお話いただこうと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。それでは、議事へ入っていきたいと思います。ここからは山田会長さんに進行をお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

3. 土岐市こども計画策定の進捗状況について

① 1章 計画の基本的な考え方、2章 こども子育てを取り巻く現状について

山田会長 では、お手元の資料1の表紙をめくっていただきまして、目次をご覧ください。非常に膨大ですので3つに区切って進めたいと思います。目次、第1章、第2章これを①、第3章を②、第4章を③とします。5章以降は作成中ですので。それでは、事務局の説明よろしくお願いいたします。

事務局 1章 計画の基本的な考え方、2章 こども子育てを取り巻く現状について説明

山田会長 はい、ありがとうございます。少し時間を取りますので、感想とか意見、質問等考えてみてください。

 はい、そろそろどうでしょうか。感想や質問、ご意見ありましたら。

② 3章 計画の基本理念について

山田会長 はい、後で思いつきましたらお願いいたします。それでは続きまして、第3章、事務局の説明よろしくお願いいたします。

事務局 3章 計画の基本理念について説明

山田会長 はい、ありがとうございます。成果指標についてはこれでよろしいでしょうか。よろしいという方はうなずいていただければ。ありがとうございます。

委員 1ついいでしょうか。土岐市は人口減少になり、子どもの人口も減ってくる。高齢者施設と一緒に作業したり、共同、繋がりというものが大事になってくると思います。これをみんなで繋ぐ未来っていうのは、私は結構だと思います。

山田会長 みんなの中には高齢者の方も入っているということですね。他よろしいでしょうか。

委員 基本理念ですが、土岐市で産めるところがないですよね。産めないのであればこどもは増えないと思います。まずそこを。産むところがないっていうのがちょっとどうかと思います。

山田会長 事務局から何かありましたら。

事務局 ありがとうございます。ご指摘いただきましたところ、全くその通りです。産科を中心とした切れ目のない支援、どのようにやっていくかということについて、産科のオープンに合わせていろんな取り組みを考えているところです。

山田会長 はい、ありがとうございます。土岐市に戻ってきて出産だけして自宅に帰ってしまうのでは寂しい話ですので、産んだ後も子育てしてもらえる環境をつくっていかねばいけないと思います。他いかがでしょうか。

- 委員 39頁の施策の体系に幼稚園教諭・保育士の確保と資質の向上とありますが、以前は私立に預けていて、今公立に預けていますが、私立の方がよかったです。人手もないことは承知していますが、すごくありがたいと思って預けていますので、何とかならないかと思います。
- 山田会長 ありがとうございます。
- 委員 確保は難しいですね。東濃地区、多治見、瑞浪も含めて奪い合いです。愛知県の方が給料がいいですし、友だちもいるということで、そちらに流れていってしまいます。
- 委員 某最寄りの育成校でも現場を志望する生徒さんが少なくて、奪い合いです。通勤圏ですから、名古屋に行く人が多いと聞きます。保育士さんを探すのに大変です。今行政の公立でもなり手がいないというのを聞いております。
- 委員 一般の方が保育の補助員で入って、こどもと触れ合って資格をとろうと。2日間ぐらい研修受けて、それから7年ぐらい経ちますが、全員取得されています。自力で勉強されて、自分で本を買ってきたり、通信教育受けてたりで2年、3年かけて取得されます。補助員で入ってきた方、100パーセント全員保育士になったので、そういう、保育士確保の道もあるのかなと思います。
- 山田会長 ありがとうございます。様々な意見をいただきました。かつて務めていた養成校では高校卒業してすぐの方ばかりではなく、色々な方が学んでいました。昔は志望者多かったですが、少なくなっていました。小学生や中学生が将来目指した職業になってほしいと思います。職業体験で男の子がきていましたが、第2希望、第3希望だったらしくて最初はぼーっとしていたんですね。で、何気に鉄棒で逆上がりしてみたら、こども達がわあっと集まってきて。憧れの目で見られて本人はびっくりしていましたが。幼稚園の先生、正直子どもたちの前で低い鉄棒で逆上がりできないんですけど、本物を見たということですね。募集については広報にも掲載されていますけど。待遇改善で、給料上げましょうと国の方からも出てます。社会人学生さんには学費免除でしたっけ。そういうこともして人材確保できるようになればいいと思います。他いかがでしょうか。
- 山田会長 成果指標を出していただきありがとうございます。合計特殊出生率が0.99という数字は非常にショックなんですけど。瑞浪市はいくつかわかりますでしょうか。
- 事務局 瑞浪市は令和4年で1.29となっています。
- 山田会長 瑞浪市、多治見市は成果指標を出しているのでしょうか。
- 事務局 この計画は同じタイミングでつくっていますので、分かりません。
- 山田会長 あとはずっと土岐市で暮らしたいが37.5%。令和5年度に実施したもののなので、なんともなりませんが、一旦土岐市から出たとしても戻ってきたいというところを。そこから見えてくるものもあると思いますので、お願いしたいと思います。

③4章 子育て関連施策の展開について

- 山田会長 それでは第4章 子育て関連施策の展開について事務局から説明をお願いします。
- 事務局 4章 子育て関連施策の展開について説明
- 山田会長 ありがとうございます。施策を色々実施していただいておりますが、委員の皆さん方が関わっている事業や施策について、この場でぜひ意見を出していただけるとありがたいです。

委員 50ページの主な事業の1番上にこども食堂支援事業っていうのがあります。同級生がこども食堂をやっているのですが、身体も動かないということで今年いっぱいやめようという話をききました。今土岐市にこども食堂は何か所ありますか。

事務局 1か所だけです。

委員 そこだけならば、土岐市内にこども食堂がなくなってしまうですね。あとを継いでくれる人がいればいいのですが、やってくれる方がいるのでしょうか。

事務局 次やってくれるという方がおみえです。やり方とかは多少変わるかもしれませんが、こども食堂というものを実施すると聞いています。

委員 土岐市ロータリークラブでもこども食堂を支援していこうかという話を仲間内でしています。続けていただけるのであればありがたいです。

山田会長 ありがとうございます。他いかがでしょうか。

委員 支援センターができたことで解消されて本当に助かります。1番の課題が今ここにあります。

山田会長 ありがとうございます。今の話の中で補足等ございましたら。

委員 放課後等デイサービス事業所をやらせていただいておりますが、先ほどのお話の中で連携体制、つなぐということがキーワードになっていると思います。途切れない支援をしていくことが、今私たちに与えられたちょっと課題でもあると考えています。また、土岐市内の中でも地域差が多分かなりあると思います。福祉事業所につきましても、駅近辺にはありますので、そちらのお子さんでは割とニーズにお応えできるような支援が提供できていますが、駅から離れてしまうと支援の提供が難しくなっており、課題であると考えています。

山田会長 ありがとうございます。補足していただきました。

事務局 教育委員会事務局より不登校支援についてお答えさせていただくと、繋がりという点では、中学校卒業後の対応についてできていないところが課題である。

山田会長 よろしかったでしょうか。

委員 資料44ページ。幼稚園教諭・保育士の確保と資質の向上について。独学で勉強して保育士資格を取得しました。働こうと思ったときに週3日ぐらいでと思い、ホームページ、広報に募集要項が掲載されていましたが、条件が合わず、今他の市で働いています。働く日数については、柔軟に対応できるといいと思います。そうすれば近隣市からも募集があると思います。

山田会長 ありがとうございます。その他ということで、事務局からあるようですので、よろしくをお願いします。

事務局 次回会議の予定についてご連絡いたします。今回は、第5章から第7章までをご審議いただきたいと思います。先ほど少しお話しいたしましたが、5章の国が指定する各種事業と国が示す計算方法の通知が少し遅れている関係で、進捗次第では12月中旬頃、場合によっては1月に次回会議を行いたいと存じます。お忙しい中恐縮ですが、また改めてご案内差し上げますので、どうぞよろしくお願いいたします。

山田会長 ありがとうございます。皆様のご協力により、議事はすべて終了いたしました。事務局にお返しいたします。

事務局 これをもちまして、第28回子ども・子育て会議を終了いたします。長時間、お疲れ様でした。